

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(能登町)立(柳田小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(直川 歩未)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修を通して、アプリや機能の使い方を伝えるとともに、各教員が取り組んだchromebookを活用した授業の実践例を共有することができた。 ・児童、教員ともに、chromebookの活用率が年度当初と比べて上がった。 ・隙間時間を利用したタイピング練習に全校で取り組んだことで、児童のタイピング能力が全体的に向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングやプログラミングなどの児童の能力の個人差が大きくなった。個人差が大きいため、授業で活用した際には、時間がかかる。 ・アプリケーションを含めたchromebookに対する機能の教員の理解の差がある。 ・低学年では、技能的に活用できる場面が限定される。各学年や実態に合った活用の仕方を考える必要がある。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA研修で得た知識や情報を校内研修でアウトプットすることで、全教員が最新のGIGAスクール構想についての知識を得ることができる。 ・校内研修では、いくつかの教室に分かれてGooglemeetを用いたオンライン研修をしたり、少人数グループでの研修を設けたりと、全教員が機能やアプリケーションを利用できるスキルを得ることを目指す。 ・スライドを用いた実践発表や毎月のアンケートを使用し、各学年の実践を全教員に共有することで、活用状況や活用方法を知ることができる。 ・授業で効果的であった実践のデータを、職員の共有ドライブで共有することで、いつでも情報交換ができる。 ・研究授業の視点に「ICTの活用」を位置づけ、一人一台端末(chromebook)などの活用の場や活用方法を工夫し、学びを深めるための有効な手立てになるようにする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>①全児童が、様々な機能やアプリケーション(「Jambord」、「Google Classroom」等)を効果的に使った協働学習を通して、自分とは違う見方、考え方に気づき、学びを深めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年の児童は、カメラ機能の利用や「Jambord」等のアプリケーションを効果的に使った協働学習を通して、自分とは違う見方、考え方に気づき、学びを深めることができる。 ・中学年の児童は、カメラ機能の利用や「Jambord」、「Forms」、「ドキュメント」等のアプリケーションを効果的に使った協働学習を通して、自分とは違う見方、考え方に気づき、学びを深めることができる。 ・高学年の児童は、検索サイトの利用や様々な機能、「Jambord」や「スライド」等のアプリケーションを効果的に使った協働学習を通して、自分とは違う見方、考え方に気づき、学びを深めることができる。 <p>②全教員が、端末管理機能(「チエル『Inter CLASS Cloud』」や「Google Classroom」等)を用いて、児童の対話的な学びを深めることができる。</p> <p>③全教員が、教材研究にICTの視点を取り入れ、考えを深める場面で様々な機能やアプリケーションを効果的に活用することができる。</p>

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	Google Classroom、共有ドライブの引継ぎ・GIGA研修報告	GIGA校内研修推進リーダー担当	
5月	Chrome bookの使い方(「Google Classroom」「Jambord」の活用について)[講義・演習] ミニ実践事例紹介・GIGA研修報告	GIGA校内研修推進リーダー担当	
6月	Chrome bookの使い方(「Forms」、カメラ機能の活用について)[講義・演習] ミニ実践事例紹介[講義・演習]	GIGA校内研修推進リーダー担当	
7月	ミニ実践事例紹介(チエル「Inter CLASS Cloud」、「Google meet」の使い方、活用について)[講義・演習]	GIGA校内研修推進リーダー担当	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全児童がeライブラリ、タイピング練習に取り組む。 ・全教員がGoogle Classroom、チエル「Inter CLASS Cloud」、カメラ、Forms、Jambord等を授業で使用することができる。 		
8月	学びを深める場面での効果的なChrome bookの活用について、外部講師による研修[講義・演習]	外部講師	
9月	GIGA研修報告[講義] ミニ実践事例紹介[講義・演習]	GIGA校内研修推進リーダー担当	
10月	5・6年生で実践したChrome bookの活用実践紹介[講義・演習]	5・6年生担任	
11月	Chrome bookの使い方(「スプレッドシート、ドキュメントの活用について)[講義・演習]	GIGA校内研修推進リーダー担当	
12月	3・4年生で実践したChrome bookの活用実践紹介[講義・演習]	3・4年生担任	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全児童がeライブラリ、タイピング練習に取り組む。 ・低学年の児童が、カメラ機能を活用することができる。 ・中学年の児童が、自分で撮影した画像を「Jambord」や「ドキュメント」のページに貼り付けることができる。 ・高学年の児童が、「スライド」を活用し、プレゼン資料を作成することができる。 ・全教員が、カメラ等のChrome bookの機能や「Jambord」「スライド」をはじめとするアプリケーションを効果的に活用した授業を実施する。 		
1月	1・2年生で実践したChrome bookの活用実践紹介[講義・演習]	1・2年生担任	
2月	授業で実践したChrome book活用実践紹介[講義・演習]	級外の授業担当者、特別支援学級担任	
3月	今年度の本校のICT活用についての振り返り[講義・演習] Classroomと共有ドライブ、eライブラリの引継ぎについて	GIGA校内研修推進リーダー担当	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(能登町)立(宇出津小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(小屋敷拓実)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 児童は、ICTを活用した授業に高い意欲をもっている。 自分の考えを書きまとめるための視覚的な補助ツールとして活用することができた。 高学年においては、学びをまとめるツールを児童自らが取捨選択し、活用できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の「どの場面で」「どんなアプリケーションを」「どのように」活用するかをさらに細かく考える必要がある。 「委員会活動や係活動など、授業以外での端末の活用についても、今後は進めていく必要がある。 オンライン授業や端末を活用した家庭学習にスムーズに接続できるように、持ち帰りのルールや家庭学習の内容について検討し、職員間で共通理解する必要がある。

校内研修のアイデア

- 授業で活用したデータ等を職員共有フォルダに蓄積し、校内研修で参照しながら共有し、実践の紹介を行う。
- 授業整理会でジャムボードやスプレッドシートを活用し、教員自身のスキルアップも図る。
- 日常的OJTで情報交換を行う。
- 外部人材を派遣し、校内研修を充実させる。
- 情報モラルについての校内研修を行い、共通事項の確認をする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 全児童が、様々なアプリケーションを使った協働学習を通して、自分とは違う見方・考え方に気付き、学びを深めることができる。
- 児童が学習の成果物をカメラで撮ったり、アプリケーションを活用してまとめたものをクラスルームにアップしたりして学びを共有することを通して、より広い相手意識をもって学習の成果を発信することができる。
- 係活動や委員会活動など特別活動の中でもICTを活用する。低、中学年ではアプリケーションを活用しながら機能に慣れ親しみ、高学年においては、媒体やアプリを取捨選択して活動することができる。
- 全教員が、授業のねらい達成にむけて、効果的にICTを活用する場面を設定した授業デザイン・単元構成ができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGA校内研修 年間計画	推進リーダー	・GIGA校内研修推進リーダー研修 4/25(月)
5月	校内研修 校内研究授業[整理会]	推進リーダー 佐野	・GIGA校内研修推進リーダー研修 5/17(火)
6月	動画撮影 校内研究授業[整理会]	推進リーダー 大久保	
7月	校内研究授業[整理会] 実践紹介	松本 推進リーダー	
中間 目標	【児童】 ・1日に3回は、端末を使用する。(朝の予定・授業・1日の振り返り) ・「カメラ」「jamボード」「検索サイトの利用」「文書作成」「表計算」「プレゼン」「アンケート機能」「サイト」のうち、低学年は、2つ以上、中学年は3つ以上、高学年は4つ以上扱った経験がある。 【教師】 ・「カメラ」を使って、自分の作品や学習に関係するものを撮影させたことがある。(低・中・高) ・「jamボード」の共同編集を活用した学習を行わせたことがある。(低・中・高) ・「文書作成」「表計算」「プレゼン」のうち、いずれかを使って、課題に対する自分の考えを記録させたことがある。(中・高) ・「検索サイトの利用」を使って、情報を収集させたことがある。(中・高)		
8月	外部人材派遣事業校内研修 校内研修	推進リーダー	
9月	校内研究授業[整理会]	瀧野	・GIGA校内研修推進リーダー研修 9/13(火)
10月	校内研究授業[整理会]	道端・上平	
11月	公開研究会	推進リーダー 松本・大久保	
12月	校内研究授業[整理会]	中森	実施報告書[様式4]提出 12/3(金)メ切
中間 目標	【児童】 ・1日に3回は、端末を使用する。(朝の予定・授業・1日の振り返り) ・「カメラ」「jamボード」「検索サイトの利用」「文書作成」「表計算」「プレゼン」「アンケート機能」「サイト」のうち、低学年は、2つ以上、中学年は3つ以上、高学年は4つ以上扱った経験がある。 【教師】 ・「カメラ」を使って、自分の作品や学習に関係するものを撮影させたことがある。(低・中・高) ・「jamボード」の共同編集を活用した学習を行わせたことがある。(低・中・高) ・「文書作成」「表計算」「プレゼン」のうち、いずれかを使って、課題に対する自分の考えを記録させたことがある。(中・高) ・「検索サイトの利用」を使って、情報を収集させたことがある。(中・高) ・「アンケート機能」と「表計算」や「検索サイトの利用」と「プレゼン」など、各機能を複合的に用いて学習させたことがある。(高) ・活用するアプリや媒体を児童に選択させる機会を設ける(高)		
1月	校内研究授業[整理会]	中島	
2月	校内研究授業[整理会]	小屋敷	実践報告2/24(金)メ切
3月	3学期の振り返りと次年度に向けて	推進リーダー	

7 GIGA研修計画

目標の達成に影響を与える現状

＋（強み）

- ・若プロが計画的に実施されている。
- ・学力向上プランや各担当からの提案をもとに、共通実践ができている。
- ・授業でICTを積極的に活用しており、児童も端末を使うことに関心が高い。

－（弱み）

- ・全職員が集まる会をもつ時間が確保しづらい。
- ・家庭でのwifi環境が整っている児童とそうでない児童がおり、タブレット操作の慣れに個人差がある。

校内研修のアイデア

◇学校研究「主体的、対話的に学び、考えを深める児童の育成」と連動させて取り組む

- ・研究授業でのICTの活用の仕方の成果と課題を話し合う。
- ・月に1回、校内研修で、ICTを活用した授業実践の報告会と演習を実施する。全ての担任が輪番で行う。
- ・おすすめのGIGAスクールライブラリを視聴し、実践に生かす。
- ・授業等で使用したワークシートや資料のデータを職員共有フォルダに蓄積していく。
- ・学習発表会などの発表の場面で、積極的にICTを活用する。
- ・若プロ研修の時間にも、効果的なICT活用について学ぶ。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全ての担任が、児童が毎日学習や活動の場面でICTを活用する機会を作っている。
- ・全教員が、協働編集機能を利用し、授業に協働学習を取り入れることができる。
- ・全教員が、カメラ機能やファイル共有機能を利用し、意見を集約したり、全体に広げたりすることで対話的な学びを支援し、深い学びにつなげることができる。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGA校内研修 今年度のICT活用取組について GIGAスクールライブラリ視聴	推進リーダー	GIGA教頭等研修 第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	実践紹介紹介	推進リーダー	
6月	GIGA出前サポート研修 実践紹介	推進リーダー 6年担任	
7月	実践紹介	5年担任	
中間目標	授業で効果的に活用しよう 【児童】 ・情報教育年間指導計画の基本的操作項目のうち低学年児童は3つ以上、高学年児童は5つ以上のアプリケーションを使用することができる。 【教師】 ・低学年担任は週に2回以上、高学年担任は毎日、端末を使用した授業を行う。 ・ファイル共有や協働編集機能を利用し、学び合いの場面で端末を効果的に活用する。		
8月	GIGA校内研修 1学期の振り返りと2学期の取組確認 GIGAスクールライブラリ視聴	推進リーダー	
9月	実践紹介	4年担任	第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 うかわっ子発表会（学習発表会）
10月	実践紹介	2・3年担任	
11月	実践紹介	1年担任	
12月	実践紹介 GIGA校内研修 2学期の振り返りと3学期の取組確認	5年担任、 6年担任 推進リーダー	
中間目標	授業で効果的に活用しよう 【児童】 ・低学年児童は週に2回以上、高学年児童は毎日、端末を使用する。 ・情報教育年間指導計画の基本的操作項目のうち低学年児童は3つ以上、高学年児童は5つ以上のアプリケーションを使用することができる。 【教師】 ・低学年担任は週に2回以上、高学年担任は毎日、端末を使用した授業を行う。 ・ファイル共有や協働編集機能を利用し、学び合いの場面で端末を効果的に活用する。		
1月	実践紹介	4年担任	
2月	実践紹介	2・3年担任	卒業を祝う会
3月	実践紹介 GIGA校内研修 1年間の振り返りと次年度に向けて	1年担任 推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(能登町)立(小木小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(中島 力哉)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- 全ての教員が授業の中で、児童がクロームブックを使って学習するように意識的に取り組むことができた。
- 考えの共有を目的としてジャムボードを使う実践を行うことができた。
- 児童がジャムボードやインターネットの検索を使って、個別に必要なに応じて学習することができた。
- 技能教科で作品を写真や動画に収めることで、学習の軌跡を残し評価にも使うことができた。
- フォームを用いて学校研究やPTAのアンケートを実施することができた。
- 教室に入らず別室にいる児童や感染症拡大防止のために欠席している児童とミートで教室をつなぎ、授業に参加できるようにした。

課題

- 授業で使用するときに、より最適で効果的な使用方法を研究していくこと。
- 児童が休み時間等も使用できるように、ルールを定着させていくこと。

校内研修のアイデア

○学校研究と連動させて取り組む。

- 算数科の授業を基軸としてChromebook活用の共通実践を図る。
- 授業内でChromebookを活用した際の写真や動画などをためていき、各学期末に実践事例交流を行う。その際に、課題と感じた部分や今後の活用方法などについても協議する。
- 校内研究授業を実施した際にChromebookの活用についても協議する。
- 研究授業の整理会でJamboardを活用する。
- 研究授業だけでなく、普段の授業でも相互に参観を促していく。
- 休み時間や帯タイム等を活用し、児童がキーボード入力に慣れる。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【教師】

- 授業を担当する全ての教員が、授業内でChromebookをねらいに合わせて効果的に活用することができる。
- 授業以外の場面でアンケート機能や教職員クラスルームでの情報共有などChromebookを活用することができる。

【児童】

- 授業内でChromebookを「アイテム」として活用することができる。
- Chromebookを使用する際のルールを理解し、守ることができる。
- 家庭に持ち帰り、Chromebookの機能を活用することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・GIGA校内研修年間計画の共通理解 ・教員のChromebook活用実態の把握(Forms)	推進リーダー	
5月	・研究授業、整理会(4年生)[全体研修] ・ミニ校内研修	推進リーダー 研究主任	
6月	・研究授業、整理会(3年生)[全体研修] ・ミニ校内研修	推進リーダー 研究主任	
7月	・ミニ校内研修	推進リーダー	
中間 目標	【教科で1人1台端末を活かす】 ・低学年は「カメラ機能」、中学年は低学年の内容に加え「キーボード入力」「Jamboard」、高学年は低・中学年の内容に加え「文章作成ソフト」「プレゼンテーションソフト」「表計算ソフト」「アンケート機能」を学習の中で使用することができる。 ・教員はこれらの機能を学習の中で活用する場面を設定している。		
8月	・1学期の実践交流[全体研修]	推進リーダー	
9月	・研究授業、整理会(5年生)[全体研修]	推進リーダー 研究主任	
10月	・研究授業、整理会(6年生)[全体研修]	推進リーダー 研究主任	
11月	・研究授業、整理会(2年生) ・研究授業、整理会(4年生)	推進リーダー 研究主任	九十九っ子発表会
12月	・研究授業、整理会(1年生)[全体研修] ・2学期の実践交流[全体研修]	推進リーダー 研究主任	
中間 目標	【1人1台端末を活用して、教科の学びを深める】 ・低学年は「カメラ機能」、中学年は低学年の内容に加え「キーボード入力」「Jamboard」、高学年は低・中学年の内容に加え「文章作成ソフト」「プレゼンテーションソフト」「表計算ソフト」「アンケート機能」を学習の中で効果的に活用することができる。 ・教員はこれらの機能をねらいに合わせて学習の中で活用する場面を設定することができる。		
1月	・研究授業、整理会(特別支援学級)[全体研修]	推進リーダー	
2月	・ミニ校内研修	推進リーダー	里海発表会
3月	・今年度の振り返りと次年度に向けての話し合い [全体研修]	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(能登町)立(松波)学校

GIGA校内研修推進リーダー(鰐淵 智之)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・児童も教員もICT機器を日常的に使用することで操作に慣れ、授業等でスムーズに活用することができた。
- ・意見を可視化しやすくなり、学習の課題や考えるべきところを焦点化できた。
- ・日々の積み重ねから、教員が学習内容に合わせて、ICT機器を「使う」「使わない」という取捨選択ができるようになった。
- ・国語を中心に実践例や教材などを蓄積することができた。また低学年は使用できる場面は限られるが、動画や写真を使った実践が効果的であった等の経験も共有できた。
- ・これまで紙で行っていたアンケートなどをFormで行うことで、集計や分析が容易になった。

課題

- ・これまで積極的にICT機器を活用してきた教員と今年から使い始める教員が混在している。
- ・思考を深める場面での効果的な活用法などについての研修と実践の取り組みをもっと行うべきであった。
- ・社会科や総合的な学習の時間の授業での具体的な実践例の紹介や取組の提案が不足していた。
- ・「オンライン社会科見学」等の遠隔教育をもっと実施していくべきだった。
- ・ICTを活用する目的を明確にし、その使い方が効果的かどうかをより吟味する必要がある。

校内研修のアイデア

・「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、学校研究と連動させてICTの効果的な活用に取り組む。

- ・ICT機器の活用に不安を持っている教員に向けて、基礎的な操作方法等の研修。
- ・各教科ごとにグループに分かれ、ICT機器の活用場面を吟味する研修。
- ・全体やグループで検討した研究授業を録画し、その授業の再現と分析を行う。
- ・日常的OJTでの情報交換。
- ・GIGA通信を発行し、情報の還元・交流を図る。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

・児童が、ICTを使うことを通して発表や考えを共有し、教科の学びを深めることができる。

・児童も教員も「文房具」としてICT機器を使うことができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・今年度の研究とICT活用指導力強化事業の取組について[全体]	研究主任	GIGA校内研修推進リーダー研修(第1日)
5月	・ICT活用授業動画の授業案検討会[全体] ・ICT機器操作ミニ研修[希望者]	推進リーダー	GIGA校内研修推進リーダー研修(第2日)
6月	・「情報モラル」についての校内研修[全体] ・ICT機器操作ミニ研修[希望者] ・校内研究授業整理会[全体]	推進リーダー	計画訪問A
7月	・ICT機器操作ミニ研修[希望者] ・校内研究授業整理会[全体]	推進リーダー	
中間目標	・全職員が、ICT機器やその他基本的な操作を習得する。 ・各学年に応じて、「深める場面」での実践と児童の姿を通しての振り返りを行い、授業改善に努めている。		
8月	・「1学期の取組」の総括と「2学期の取組」の確認[全体] ・ICT機器操作ミニ研修[希望者]	推進リーダー	
9月	・校内研究授業整理会[全体]	推進リーダー	GIGA校内研修推進リーダー研修(第3日)
10月	・校内研究授業整理会[全体] ・実践交流会(高学年)[全体]	推進リーダー	計画訪問B
11月	・校内研究授業整理会[全体] ・実践交流会(中学年)[全体]	推進リーダー	公開研究会
12月	・校内研究授業整理会[全体] ・実践交流会(低学年)[全体] ・「2学期の取組」の振り返りと「3学期の取組」の確認[全体]	推進リーダー	
中間目標	・使う目的を明確にし、児童にとって効果的かどうか吟味して授業で活用している。 ・「考えの共有」に重点をおいた授業実践を各学年で1回は行い、その授業を校内で公開する。		
1月	・校内研究授業整理会[全体]	推進リーダー	計画訪問C
2月	・校内研究授業整理会[全体]	推進リーダー	
3月	・3学期の振り返りと、来年度へ向けての反省と計画[全体]	推進リーダー	実践報告(締切:令和5年2月24日)